

月 報

フルードパワー

No. 286 2023. 4. 30

一般社団法人 日本フルードパワー工業会

本 部：〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5-8 号 機械振興会館内

TEL. 03 (3433) 5391

FAX. 03 (3434) 3354

西日本支部：〒566-8585 大阪府摂津市西一津屋 1-1

ダイキン工業㈱ 油機事業部企画部

TEL. 06 (6349) 0241

FAX. 06 (6349) 9865

第 95 回理事会開催

第 95 回理事会が、4 月 21 日（金）の 15：30～16：50 までの間、「ザ・プリンスさくらタワー」（高輪）2 階カンファレンスフロアで開催されました。まず、はじめに事務局より、理事総数 28 名に対し、本理事会に出席理事 19 名及び監事 2 名の出席があり、過半数が出席していることから、当会の定款第 31 条に定めるところにより本理事会が有効に成立する旨を報告しました。理事会開催に先立ち、ご来賓である安田篤経済産業省産業機械課長から、最近の政策動向について、ロシアの産業基盤強化に資する



主 要 目 次

ISSN. 1345-2371

第 95 回理事会開催・・・・・・・・・・・・・1

委員会開催・活動状況

需要対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

標準化事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

技術調査事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

国際交流事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

振興対策事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

会員ニュース・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

今後の主要行事予定・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

統計資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

（一社）日本フルードパワー工業会

URL <http://www.jfpa.biz/>



物品の輸出禁止措置、2023 年度の電力需給見通しと今後の供給力対策、EU における PFAS 規制の動向、半導体製造装置の輸出管理強化、技能実習制度及び特定技能制度の在り方に関する有識者会議中間報告書たたき台、カウンターインテリジェンス等のご説明がありました。

梶本会長は第 95 回理事会の開催を宣言し、議事録署名人として会長である本人と監事の向氏、古川氏を指名し、会長として最近の業務の執行概要を報告しました。

まずはじめに第 1 号議案として、事務局は、2022 年度事業報告書及び決算報告書（案）を資料 1 号に基づき、次のように報告しました。

「2022 年度は、新型コロナ蔓延による世界的な物流等の混乱の影響が収まらない中、米中の覇権をかけた対立の先鋭化に加え、2022 年 2 月にロシアのウクライナ侵攻による戦争勃発の影響がまだ見えない中で始まりました。結果、エネルギー不足に起因する電気・ガスなどの価格高騰、部品部材不足による製造工程の混乱などを引き起こし、更に米国の金利引き上げによって、為替が円安に振れました。これらの事象に対応するため、業界として環境対策（カーボンニュートラル）に加え、通商・セキュリティ対策（貿易投資・経済安全保障）が強く求められた年度でした。このような政治経済環境の中、当業界の 2022 年の出荷額は、油圧部門では、3,883 億円（対前年比 2.3%減）、空気圧部門では、6,145 億円（対前年比 11.0%増）となり、全体で 1 兆 28 億円（対前年比 5.5%増）となりました。工業会では、WEB 等を活用とした効率的会議の推進などの業務の効率化を進め、国や JETRO の協力により、様々な海外情報の発信を行うとともに、デジタル社会への対応や次世代を担う若手技術者育成策を強化いたしました。決算としては、事業活動収支差額が約 2500 万円の黒字となりました。」次いで、議長は監事による監査報告を求め、向監事から「適正である」旨の監査報告がありました。議長が第 1 号議案を議場に諮ったところ、全員意義なく原案

の通りこれを承認可決しました。

次に議長は、第 2 号議案 2022 年度理事・監事会費預り金収支報告書（案）について事務局に説明を求めました。事務局は、資料 2 号に基づき、これを説明した後、議長が議場に諮ったところ、全員意義なく原案の通りこれを承認可決しました。

続いて、第 3 号議案として、2022 年度予算見直し（案）について事務局が説明し、議長が第 3 号議案を議場に諮ったところ、全員意義なく原案の通りこれを承認可決しました。更に、第 4 号議案として第 24 回定時総会開催について説明を行い、議長がこれを議場に諮ったところ、全員意義なく原案の通りこれを承認可決しました。

その他事務局から、専務理事の業務報告、2023 年・年度の需要予測、今後の主要日程についての報告があった後、議長から議案審議をすべて終了したことの宣言があり、理事会は閉会しました。

理事会終了後、梶本会長の乾杯のご発声の後、簡単な懇親会が和やかに行われました。



2022 年度の業務・会計監査の実施

日 時 4 月 17 日（月）15:00 ～ 17:00

場 所 当会会議室

出席者 向監事・古川監事

事務局 藤原、饗庭、

2022 年度事業及び決算に関する監査が 4 月 17 日（月）に当会会議室で行われました。当日は、

向監事及び古川監事に対し事務局から「2022 年度の 1. 事業報告書、2. 貸借対照表、3. 正味財産増減計算書、4. 財産目録、」5. 収支計算書、6. 財務諸表・収支計算書に対する注記(附属明細書)の(案)を詳細に説明しました。

その後、両監事はパソコンを含む諸書類及び諸帳簿並びに残高証明書等を詳細にチェックし、正確・適正に処理されている旨の講評がありました。

委員会開催・活動状況報告 (詳細については各担当者にご照会下さい)

~~~~~  
需要対策事業  
~~~~~

総需要部会空気圧分科会

日 時 4 月 12 日 (水)

事務局 唯根

議 事

主査急務による欠席となったため、委員の出席状況も鑑み WEB 会議は中止とし、事前に提出された積み上げ予測値から、事務局で各需要部門の数値を整理して 2023 年・年度の見通し(案)を作成し、各委員宛に送付することとした。今後の委員間の連絡はメールで行うこととし、会議にて調整した予測(案)を正とすることとした。

総需要部会油圧分科会

日 時 4 月 13 日 (木) 15:30 ~ 17:00

場 所 Web 会議

出席者 中間委員以下 9 名

事務局 唯根

議 事

初めに中間委員から 2023 年・年度の各種経済機関が予測した経済予測をベースにした経済動向とそれに基づく当業界のマクロ予測について詳細な説明を受けた。事務局の司会で 2023 年・年度の需要動向について各委員から担当業種ごとに積み上げ予測値についての詳細な説明があり、各委員との意見交換を行った。この結果、提出された今回の積み上げ予測値とマクロ予測値に剥離のある需要部門もあったが、両者の意見を尊重し大幅な修正は行わないこととした。その後、事務局で整理して 2023 年・年度の見通し(案)を作成し、各委員宛に送付することとした。また、今後の委員間の連絡はメールで行うこととし、会議にて調整した予測(案)を正とすることとした。

~~~~~  
標準化事業  
~~~~~

空気圧調質機器分科会

日 時 4 月 5 日 (水)、13:30~16:00

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 檜垣主査以下 6 名(うちリモート:6)

事務局 前畑・宮

議 事

委員の交代があり、新主査に、SMC: 檜垣匡光主査が、また、新委員に、コガネイ: 江川千晶委員が就任された。

前回議事録の確認後、ISO 投票について、投票済み案件の報告があり、ISO/SR5782-1: 定期見直し投票→改訂(Revise/Amend)、ISO/SR6301-1: 定期見直し投票→継続(Confirm)、で投票したとのこと。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した(「* ISO 関連情報」参照)。

次いで、5/9 開催予定(ドイツ・フランクフルト)の ISO/TC131/SC5/WG5 国際会議について、日本提案のサイレンサ規格に対する審議の進め方について討議した。規格発行期限までがタイトな日程と予測されるため、期間延長も含めて審議することとした。

次回開催: 5 月 19 日、機械振興会館+リモート

油空圧シール分科会小委員会

日 時 4 月 12 日 (水)、13:30~15:30

場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート

出席者 南主査以下 8 名(うちリモート:8)

事務局 前畑・宮

議 事

5/9 開催予定(ドイツ・フランクフルト)の ISO/TC131/SC7/WG10 国際会議の対応に関して、ISO5119 の DIS コメントに対する回答結果について討議した。国際会議での日本主張としての主な意見は下記のとおり。

- ・ 高圧窒素ガスに限定した試験であることを明記すべき。
- ・ 本規格が材料試験規格であれば問題ないが、機能試験規格というのであれば劣化試験等を考慮すべきであり、規格内容不足である。そのため、Scope(適用範囲)に材料試験規格であることを明記し、タイトルを変更すべき。
- ・ 試験装置の構成図がないため、附属書として追加すべき。
- ・ 試験治具図面の寸法指示に関して、全寸法を指示するのではなく、重要な箇所のみ指示すべき。

次回開催：必要に応じて開催

油圧バルブ分科会

日 時 4月13日(木)、13:30~16:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 高野主査以下 11 名(うちリモート:11)
事務局 前畑・宮
議 事

委員の交代があり、不二越：角谷圭太委員から山口正志委員に交代された。

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、投票済み案件の報告があり、ISO/SR16873：定期見直し→改訂(Revise/Amend)、ISO/SR10372：定期見直し→継続(Confirm)、で投票したとのこと。また、新規投票案件について審議し、ISO/SR10770-2：定期見直し→改訂(Revise/Amend)、ISO/WD7368：WD 原案に対する賛否→賛成、ISO6403：中国コメント回答に対するコメント有無→コメント無、で投票することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した(「*ISO 関連情報」参照)。

次いで、5/8 開催(ドイツ・フランクフルト)の ISO/TC131/SC5/WG2 国際会議のアジェンダを確認し情報共有した。

次いで、JISB8664(油圧—減圧弁、シーケンス弁、アンロード弁、絞り弁及びチェック弁—取付面)改正について、対応国際規格(ISO5781)と比較しながら改正作業を行った。

次回開催：7月27日、機械振興会館+リモート

油空圧継手・ホース分科会

日 時 4月20日(木)、13:30~16:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 岩崎主査以下 8 名(うちリモート:8)
事務局 前畑・宮
議 事

委員の交代があり、日東工器：真田秀幸委員から浅里信之委員に交代された。

前回議事録の確認後、ISO 投票案件について、投票済み案件の報告があり、ISO/TC131/SC4/N1002：ISO/AWI8434-6 プロジェクトキャンセル可否→賛成、ISO/FDIS16028：FDIS 投票→承認(Approval)、ISO/TC131/SC4/N1005：ISO/CD8434-3 プロジェクトキャンセル可否→賛成、で投票したとのこと。また、新規投票案件について審議し、ISO/TC131/SC4/N1010：ISO/TC131/SC4/WG4 コンベナー任命→賛成、ISO/SR6162-1：定期見直し→継続(Confirm)、ISO/SR6162-2：定期見直し→継続(Confirm)、

ISO/SR8434-2：定期見直し→継続(Confirm)、で投票することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した(「*ISO 関連情報」参照)。

次いで、5/9-11 開催予定(ドイツ・フランクフルト)の ISO/TC131/SC4/WG1, 2, 4, 6 国際会議のアジェンダを確認し情報共有をした。

次いで、JISB2355-1(油圧・空気圧用及び一般用途用金属製管継手—Oリングシールによるメートルねじポート及び継手端部—第1部：Oリングシールポート)の改正について、対応国際規格(ISO6149-1)と比較しながら改正作業を行った。
次回開催：7月25日、機械振興会館+リモート

油空圧シリンダ分科会

日 時 4月27日(木)、13:30~16:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 渡部主査以下 7 名(うちリモート:7)
事務局 前畑・宮
議 事

委員の交代があり、光陽精機：山田茂晴委員から岩村裕之委員に、TAIYO：山田真の介委員から内田裕也委員に交代された。

前回議事録の確認後、ISO 投票について、投票済み案件の報告があり、ISO/TC131/SC3/N888：ISO/DIS21287 プロジェクト中止賛否→賛成、ISO/TC131/SC3/N889：ISO/TC131/SC3/WG2 コンベナー再任→賛成、で投票したとのこと。また、新規投票案件を審議し、ISO/SR15524：定期見直し、ISO/SR10099：定期見直しについて、各委員で検討し渡部主査に提出することとした。

次いで、ISO 国際会議について情報共有した(「*ISO 関連情報」参照)。

次いで、昨年 10/25 開催(ウェブ会議)の ISO/TC131/SC3/WG1 国際会議、および、昨年 11/8 開催(ウェブ会議)の ISO/TC131/SC3/WG2 国際会議の報告があり情報共有した。

次いで、JIS_B8377-2(シリンダの試験・検査—第2部：油圧シリンダ受渡検査)の改正について、3/27 開催の JIS 原案作成委員会の報告があり、指摘事項を修正の上、5月末までに原案最終版を提出とのこと。続いて、指摘事項について修正内容の審議を行った。

次回開催：9月6日、機械振興会館+リモート

*ISO の動き

・2023 年度の ISO/TC131 関連国際会議は、春季(5/8-11)：ドイツ・フランクフルト、秋季(10/16-20)：アメリカ・ミルウォーキー、にて開催予定。

- ・2023年度のISO/TC118/SC4関連国際会議は、9/19-20:アメリカ・オースチン、その他(6月、11月):ウェブ会議、にて開催予定。
- ・今月開催されたISO国際会議は下記の通り。会議の詳細については、別途、報告書を作成・発行します。

4/26: TC131/SC1/WG2: ウェブ会議: 日本参加者 1

~~~~~

#### 技術調査事業

~~~~~

水圧部会

日 時 4月17日(月)、13:30~15:00
場 所 機械振興会館 JFPA 会議室+リモート
出席者 細井部会長以下8名(うちリモート:8)
事務局 前畑
議 事

部会長の交代があり、日本アキュムレータ: 内田晃部会長から堀内機械: 細井耕平委員に交代された。また、委員の交代があり、三輪精機: 茂木健委員から秋山久委員に交代された。

前回議事録の確認し、特に異議なく承認された。

次いで、今年度のPRグループの活動計画として、水圧ブログの掲載計画の説明があった。今後、月1件のペースで掲載していくこととした。

次いで、MRグループの活動計画として、今度開催予定の展示会リストについて説明があった。今後、計画表に基づき視察することとした。

次いで、水圧機器・システムの幅広い周知を図るために、ウィキペディアのようなツールを活用してはどうか、という提案があった。議論した結果、単に用語検索だけではなく、水圧機器需要拡大につなげるためにユーザからの相談窓口も含めたツール化が必要ではないか、との意見があり、今後継続して検討を行っていくこととした。

最後に、現在運用している水圧ブログがセキュリティの関係で閲覧できない企業があるとの報告があった。今後改善を検討していくこととした。
次回開催: 7月7日、機械振興会館+リモート

技術委員会空気圧部会第601回特許分科会

日 時 4月21日(金) 13:30 ~ 15:30
場 所 Web 会議
出席者 瀧幹事以下4名
事務局 吉田
議 事

前回議事録を確認した。公報の検討と無効理由調査について2件について引き続き調査を行うこととした。新たに1件について調査を開始するこ

ととした。

2022年度収支明細、2022年度活動報告、2023年度予算案について確認し、承認された。

次回開催: 5月26日(金) Web 会議

~~~~~

#### 国際交流事業

~~~~~

2023年4月17日(月)~21日(金)でドイツのハノーバーメッセ2023が開催された。開催に先立ち、前日の4月16日(日)の午後6時よりハノーバーメッセ2023オープンセレモニーが開催され、当工業会 梶本会長宛てに招待状が届いており、事務局の大熊が代表として、オープンセレモニーに出席した。また翌日からのハノーバーメッセ2023も見学を行った。その内容について報告する。

オープンセレモニー出席

日 時 4月16日(日) 18:00 ~ 20:00
場 所 HCC Hannover Congress Centrum
事務局 大熊

ハノーバメッセ2023の開催に際し、ハノーバー市内中心に近いCongress Centrumにおいてオープンセレモニーが開催さ、ドイツのオラフ・ショルツ首相やインドネシアのジョコ・ウィドド大統領が出席されており、メッセの開催規模の大きさを感じた。そのため入場におけるセキュリティがとても厳しく、3回のチェック後やっと入場することができた。セレモニー出席者は全体して、4000人以上の人が参加し会場内の席はほぼ満席であった。

オープンセレモニー開始後は、ショルツ首相から始まり各団体企業の挨拶へと進んでいったが、今回ボッシュ・レックスロス(株)が大々的にメッセの展示を行っており、表彰されていた。進行はすべてドイツ語で行われていたが、若干の英語も使用されていた。また、セレモニーに参加した方々で、ドイツ語が理解できない方々のために、会場内で各言語の同時通訳されたもの聞ける機械が無料貸し出しされており、皆使用していた。



写真1 セレモニー会場外観



写真2 セレモニー会場内部



写真3 ショルツ首相とウィドド大統領入場

ハノーバーメッセ見学

日 時 4月17日(月), 18日(月)

事務局 大熊

ハノーバーメッセの会場は、全部で 27 個の展示会場によって作られている。その中で今回のメッセでは、約 2/3 の展示会場が使用されていた。(写真4参照)



写真4 展示会場全体
(白は未使用の展示会場)

展示内容としては、各国の各種産業の出展がされている中、フルードパワーを主体とした多くの多くのブースが出展されていた。出展に使用されている建物は今回全部で 18 棟あり、一つ一つの会場が広いので、全部のブースを1日で見学することは難しい。ただし、各展示ブースの広さが日本の展示ブースの広さに比べ 5~10 倍ほど大きく、大きなスペースをゆったりと使用しているといったイメージであった。

海外の出展ブースで、特に目立ったのは、中国や台湾が、多くのブースを出展していた。日本企業のブースではTHK(株)など4社ほどしか確認することができなかった。



写真5 展示会場

また今回展示会では、コロナ過で今までリアルで合うことの出来なかった下記の方々と面談を行い、今後の情報交換を継続させる約束を行った。

- ・台湾フルードパワー工業会
- ・VDMA フルトパワー ディレクター
- ・ドイツメッセ フルトパワー ディレクター



その他、ドイツまでの移動についてであるが、現在ロシアの紛争により、ロシアの上空を飛行することができない。そのため行きは、日本からベーリング海を経由し、北極点を通過してドイツへ至る 14 時間の飛行時間となり、帰りはドイツからギリシャ方面を経由し中国を経由する 12 時間の飛行時間で、今までよりもかなり長い飛行時間であった。

～～～～～～～～
振興対策事業
～～～～～～～～

IFPEX 準備委員会

日 時 4 月 14 日（金）15:00～18:00
場 所 産経新聞社 14A 会議室
出席者 杉村委員長以下 10 名
事務局 藤原、唯根
荒井、富山、上片平（産経新聞社）
内田、高鍋（ティ・シー・エス）

議 事

事務局藤原より準備委員会開催挨拶ののち、実行委員長を前回に引き続き、日本アキュムレータ杉村登夢様に就任を依頼、実行委員会にて承認された。次回 IFPEX2024 は、東京ビッグサイト東展示棟 1、2、3 ホール、2024 年 9 月 18 日（水）・19 日（木）・20 日（金）の会場・会期を予定していることを事務局より説明を行った。なお、東 8 ホールの地盤技術フォーラムも同時開催展で現状東 7 ホールは空き状態となっている。東 4、5、6 ホールは日刊工業新聞社主催展示会があり、日刊工業新聞社と来場者のデータ共有の話事務局ベースで進めている。募集要項およびポスターのデザイン（公募）改正については、これまでメインビジュアルの公募を行ったが、今回より産経新聞社から候補を提出したいとの申し出があった。但し自由公募形式も可能で応募があれば薄謝を出す事となった。委員からロゴの変更案が提言されたこともあり、ロゴマークデザイン案も 3 案

ほど考案して、次回に発表し検討する事とした。併設コーナー・併催行事については、来場者に対しての施策として、芸能人や YouTuber をアンバサダー採用する案について意見交換を行った。各委員からギャラ問題やポスターへの写真掲載等意見をいただき、次回までに調査し事務局より再提案する事とした。水圧テーマコーナー・ロボットコーナー・ハッピーアワーについては引き続き実施する事が承認された。出展料金の値上げについて、各社にて検討いただく旨が説明された。次回検討する事となった。

～～～～～～～～
会員ニュース
～～～～～～～～

☆賛助会員入会

下記企業が賛助会員として入会されました。
入会日：2023 年 4 月 1 日
会社名：ユニコム株式会社
所在地：香川県仲多度郡多度津町堀江 3-7-15
代表者：代表取締役 藤原康雄

☆日立建機株式会社の新役員紹介

代表執行役執行役員会長 平野耕太郎
代表執行役執行役員社長 先崎正文

☆社名変更のお知らせ

旧社名：イートン株式会社
新社名：ダンフォース株式会社

～～～～～～～～～～
今後の主要行事予定
～～～～～～～～～～

※2023 年

☆5 月 18 日（木）定時総会・懇親会
☆5 月 19 日（金）JFPA ゴルフ懇親会
☆10 月 19 日（木）西日本支部総会・理事懇談会
☆10 月 20 日（金）ゴルフ懇親会
☆12 月 21 日（木）政策委員会

※2024 年

☆1 月 17 日（水）理事会・年始会

～～～～～～～～～～
4 月に開催された当会各委員会に出席された皆様は以下の通りです。（敬称略）
～～～～～～～～～～

(需要対策事業)
総需要部会油圧分科会
開催日 4月13日(木)

出席者
出席者
委員 中間正道 (中間正道行政法務事務所)
〃 前山宣則 (カヤバ)
〃 本高健治 (川崎重工業)
〃 後藤 彰 (島津製作所)
〃 常村憲史 (TAIYO)
〃 岡本智行 (ダイキン工業)
〃 簗和田雄二 (東京計器)
〃 上田真也 (ナブテスコ)
〃 手塚隆広 (油研工業)

(標準化事業)
空気圧調質機器分科会
開催日 4月5日(水)
出席者
主 査 檜垣匡光 (SMC)
委員 阪上隆之 (甲南電機)
〃 江川千晶 (コガネイ)
〃 國崎雄嗣 (CKD)
〃 高橋佑司 (TAIYO)
特別参加 小田敏裕 (甲南電機)

油空圧シール分科会小委員会
開催日 4月12日(水)
出席者
主 査 南暢 (バルカー)
委員 安西祐二 (阪上製作所)
〃 奥田智昭 (三菱電線工業)
〃 但木郁夫 (荒井製作所)
〃 寺島剛資 (エア・ウォーター・マッハ)
〃 宗岡祥平 (NOK)
〃 宮本博夫 (NOK)
〃 高牟礼辰雄 (JFPA)

油圧バルブ分科会
開催日 4月13日(木)
出席者
主 査 高野一治 (油研工業)
委員 伊藤達夫 (カヤバ)
〃 富永健一 (川崎重工業)
〃 成田昌史
(ジェイテクトフルードパワーシステム)
〃 瀬川均 (ダイキン工業)
〃 安永和敏 (東京計器)
〃 八上光春 (廣瀬バルブ工業)
〃 山口正志 (不二越)

〃 浦井隆宏 (ボッシュ・レックスロス)
〃 小林義伸 (日立建機)

油空圧継手・ホース分科会
開催日 4月20日(木)
出席者
主 査 岩崎宏文 (イハラサイエンス)
委員 金城良 (東京計器パワーシステム)
〃 梅津浩次 (油研工業)
〃 辻田智 (日東工器)
〃 真田秀幸 (日東工器)
〃 宮下暁 (横浜ゴム)
〃 横岡慎吾 (ブリヂストン)
〃 石附高 (日本ホース金具工業会)

油空圧シリンダ分科会
開催日 4月27日(木)
出席者
主 査 渡部文雄 (日本シリンダ共同事業)
委員 田村健 (SMC)
〃 原貴彦 (カヤバ)
〃 赤松直人 (甲南電機)
〃 塩田浩司 (コガネイ)
〃 内田裕也 (TAIYO)
〃 東川智信 (TAIYO)

ISO/TC131/SC1/WG2 国際会議
開催日 4月26日(水)
出席者
委員 町田哲治 (東京計器)

(技術調査事業)
水圧部会
開催日 4月17日(月)
出席者
部会長 細井耕平 (堀内機械)
委員 船坂新 (川崎重工業)
〃 高橋祐輔 (阪上製作所)
〃 茂木健 (三輪精機)
〃 石丸典幸
(ジェイテクトフルードパワーシステム)
〃 光畑真一 (タイヨーインタナショナル)
〃 内田晃 (日本アキュムレータ)
〃 田邊康伸 (廣瀬バルブ工業)
〃 神田健一 (丸山製作所)

技術委員会空気圧部会第601回特許分科会
開催日 4月21日(金)
出席者
幹 事 瀧 芳久 (CKD)

委 員 井野雅康 (SMC)
〃 安田善仁 (甲南電機)
〃 下川一幸 (コガネイ)

(振興対策事業)

空気圧本部会

開催日 4月11日(火)

出席者

本部長 湯原真司 (CKD)

幹 事 中村賢次 (ニューエラー)

会 計 長谷川靖 (甲南電機)

委 員 宮崎文夫 (オリオン機械)

〃 池 燦圭 (TAIYO)

〃 澤田啓支朗 (タイオンタショナル)

〃 沖田和久 (日本精器)

IFPEX 準備委員会

開催日 4月14日(金)

出席者

委員長 杉村登夢 (日本アキュムレータ)

委 員 宮崎文夫 (オリオン機械)

〃 谷尾和彦 (SMC)

〃 谷塚享史 (SMC)

〃 田島浩介 (神威産業)

〃 近藤素子 (川崎重工業)

〃 垣本幸伸 (コガネイ)

〃 澤田啓支朗 (タイオンタショナル)

〃 簗和田雄二 (東京計器)

〃 岩井靖子 (不二越)

〃 片野 優 (油研工業)

14日(金)

・振興対策 IFPEX 準備委員会

17日(月)

・技術(委) 水圧部会

20日(木)

・標準化(委) 油空圧継手・ホース分科会

21日(金)

・技術(委) 空気圧部会第601回特許分科会

27日(木)

・標準化(委) 油空圧シリンダ分科会

☆経済産業省ホームページ

経済産業省の HP では①政策②申請・届出③統計④政策提言⑤情報公開のリンク等から必要な情報が得られます。

<http://www.meti.go.jp/>

☆中小企業庁ホームページ

中小企業庁 HP でも中小企業向け施策に関する多くの情報が得られます。

<http://www.chusho.meti.go.jp/>

~~~~~

月間行事概要

~~~~~

<4月>

5日(水)

・標準化(委) 空気圧調質機器分科会

12日(水)

・需要対策(委) 空気圧分科会

・標準化(委) 油空圧シール分科会小委員会

13日(木)

・需要対策(委) 油圧分科会

・標準化(委) 油圧バルブ分科会